

Sun Java™ System Administration Server リリースノート (HP-UX 版)

Version 5.2 2005Q4

Part No. 819-5970

このリリースノートには、Sun Java System Administration Server 5.2 2005Q4 (HP-UX 版) のリリース時点で判明している重要な情報が含まれています。既知の問題点と制限事項、およびその他の情報が説明されています。Administration Server 5.2 をお使いになる前に、このリリースノートをお読みください。

このリリースノートの最新バージョンは、<http://docs.sun.com/app/docs/prod/entsys.05q4> の Sun Java System マニュアル Web サイトで参照できます。ソフトウェアをインストールおよび設定する前、およびその後も定期的に Web サイトを参照して、最新のリリースノートや製品マニュアルを確認してください。

このリリースノートは、次の節で構成されています。

- [リリースノートの変更履歴](#)
- [Administration Server 5.2 2005Q4 の概要](#)
- [このリリースで修正されたバグ](#)
- [重要な情報](#)
- [既知の問題および制限](#)
- [再配布可能なファイル](#)
- [問題の報告とフィードバックの方法](#)
- [その他の情報](#)

このリリースノートで参照先として示しているサードパーティーの URL で、追加情報や関連情報を得ることができます。

注 Sun は、このリリースノートで示されているサードパーティーの Web サイトを使用できるかどうかについては責任を負いません。また、これらの Web サイトまたはリソースで利用可能なコンテンツ、広告、製品、またはその他の資料を保証したり、これらに対して責任を負ったりすることはありません。さらに、これらの Web サイトまたはリソース上で、またはこれらを通して利用可能なコンテンツ、商品、またはサービスにより生じた、またはこれらを使用または信用したことに関連する実際の、または申し立てられた損害や損失に対しても責任を負いません。

リリースノートの変更履歴

表 1 変更履歴

日付	変更点
2006年2月	商用リリース
2005年11月	ベータリリース

Administration Server 5.2 2005Q4 の概要

Administration Server のマニュアルとコンソールには、製品のバージョン番号が 5.2 と表記されている部分があります。Administration Server 5.2 2005Q4 は、Administration Server 5.2 の保守用リリースです。

Administration Server とサーバーコンソールは、Sun Java System サーバーソフトウェアを管理するためのインストール可能な単一コンポーネントとして、Sun Java Enterprise System インストーラから提供されます。サーバーコンソールは、Directory Server や Administration Server のインスタンスと連携して動作するスタンドアロン Java アプリケーションです。サーバーコンソールは Sun Java System ソフトウェアに対するフロントエンドの管理アプリケーションとしての役割を果たし、設定ディレクトリに登録されているすべてのサーバーやアプリケーションを検出したり、これらをグラフィカルインタフェースに表示したりします。さらに、ユーザー情報の追加や編集をはじめ、これらのサーバーやアプリケーションに対するユーザーの管理や設定を可能にします。

ここでは、次の内容について説明します。

- [このリリースの新機能](#)
- [ハードウェアおよびソフトウェアの要件](#)

このリリースの新機能

Administration Server 5.2 2005Q4 は、Administration Server 5.2 2004Q2 の保守用リリースです。このリリースでは、新しい機能は導入されていません。Administration Server 5.2 2005Q4 で修正されたバグについては、「[このリリースで修正されたバグ](#)」を参照してください。

ハードウェアおよびソフトウェアの要件

このリリースの Administration Server 5.2 2005Q4 には、次のソフトウェアが必要です。

警告

HP-UX プラットフォームに Administration Server をインストールする前に、必要な OS パッチがインストールされていることを確認する必要があります。これらのパッチは、フォームやパッチクラスタとして、または個別のパッチとして、<http://www1.itrc.hp.com/service/patch/releaseIndexPage.do?BC=patch.breadcrumb.main> から取得できます。必要な OS のパッチクラスタには、パッチを正しい順序でインストールするためのインストールスクリプトが含まれています。新しいパッチバージョンのリリースに伴って、クラスタは定期的に更新されます。HP-UX サイトの IT リソースセンターでパッチのリンクを選択し、リンクをたどって利用可能で必要な OS のパッチクラスタを取得します。

Administration Server は他のサーバーの管理用にインストールされるため、現実的および全体的な要件を把握するために、管理対象となる他のサーバーの RAM および空きディスク領域の条件を以下の条件に追加する必要があります。

表 2 HP-UX のハードウェアおよびソフトウェアの要件

コンポーネント	プラットフォームの要件
オペレーティングシステム	HP-UX 11i v1
RAM	128M バイト
空きディスク領域	256M バイト
Java	Java Runtime Environment 1.4

注

Administration Server 5.2 は HP-UX11i v1 で検証されています。

このリリースで修正されたバグ

なし。

重要な情報

この節では、次のトピックについて説明します。

- [インストール上の注意](#)
- [ドキュメントに関する注意事項](#)
- [障害者のためのアクセシビリティ機能](#)

インストール上の注意

パッチの要件およびインストールについては、次の節を参照してください。

- [パッチ要件に関する情報](#)
- [一般的なインストール情報](#)

パッチ要件に関する情報

次の表に、整合パッチの番号と最低バージョンを示します。ここに示されているパッチはすべて、アップグレードで必要とされる最低バージョンです。このドキュメントの出版後に新しいバージョンのパッチが発行されている可能性があります。新しいバージョンには、パッチの末尾に異なるバージョン番号が示されています。たとえば、123456-04 は 123456-02 よりも新しいバージョンですが、パッチ ID は同じです。各パッチに固有の手順については、README ファイルを参照してください。

パッチを利用するには、<http://sunsolve.sun.com> にアクセスしてください。

表 3 HP-UX 版の Administration Server 5.2 2005Q4 の整合パッチ

パッチ番号	パッチの説明
121515-01	HP-UX 11.11: Sun Java™ System Administration Server 5 2005Q4
121933-01	HP-UX 11.11: Sun Java™ System Administration Server 5 2005Q4 (ローカライズ版パッチ)

Administration Server を JES3 から JES4 にアップグレードするための手順については、『Sun Java Enterprise System 2005Q4 Upgrade Guide for HP-UX』(<http://docs.sun.com/app/docs/doc/819-4460>) を参照してください。

前提条件

前述のシステムレベルおよびアプリケーションレベルのパッチに加えて、Directory Server および Administration Server のリリースには次のソフトウェアがインストールされている必要があります。

- J2SDK 1.4 Runtime Environment: HP-UX depot 'Jre14'
- Perl version 5: HP-UX depot 'Perl5'

一般的なインストール情報

- Administration Server を root として実行する場合、管理ユーザーが開始するコマンドもすべて root として実行されます。そのため、サーバーの root パスワードに適用する機密性とセキュリティについての規則と同じものを、管理者パスワードに適用する必要があります。
- HP UNIX パッケージから Administration Server 5.2 をインストールするときには、シンボリックリンクを *ServerRoot* として指定しないようにしてください。*ServerRoot* は、Directory Server、Administration Server、およびコマンド行ツールの共有バイナリファイルにアクセスするためのパスです。シンボリックリンクを *ServerRoot* として指定した場合に、root ユーザー以外のユーザーとして Administration Server を起動しようとすると、次のエラーが出力されます。

このコマンドを実行するには root ユーザーになる必要があります

ドキュメントに関する注意事項

ヘルプファイル

Administration Server のリリースにはオンラインヘルプ機能が搭載されています。オンラインヘルプは次の形式で提供されます。

- オンラインヘルプファイルはデフォルトで次の場所にインストールされます。この場所は、あとで管理コンソールから確認できます。

`/opt/sun/admin-server/5.2/manual/en/admin/help`

- ヘルプファイルは設定時に `SERVER_ROOT` に生成できます。

設定場所 : `SERVER_ROOT/manual/help`

マニュアルページ

Directory Server コマンドと Administration Server コマンドは、マニュアルページとして記載されるようになり、次の形式で配布されています。

- HTML 形式および PDF 形式の『Sun Java System Directory Server 5.2 2005Q1 Man Page Reference』および『Sun Java System Administration Server 5.2 2005Q1 Man Page Reference』として
- ソフトウェア配布パッケージとして

▶ マニュアルページにアクセスする

1. マニュアルページのパッケージ内容 [man1m ディレクトリ] が次のデフォルトの場所にインストールされていることを確認します。

```
sun-adminsvr-asvnm in /opt/sun/admin-server/5.2/man
```

2. MANPATH 環境変数を更新します。

次のコマンドを実行します。

```
$ export MANPATH=${MANPATH}:/opt/sun/admin-server/5.2/man
```

ローカライズされたマニュアル

ローカライズされたマニュアルは、利用可能になった時点で <http://docs.sun.com/> に掲載されます。

障害者のためのアクセシビリティ機能

このメディアの出版以降にリリースされたアクセシビリティ機能を入手するには、Sun に米国リハビリテーション法 508 条に関する製品評価資料を請求し、その内容を確認して、どのバージョンが、アクセシビリティに対応したソリューションを配備するためにもっとも適しているかを特定してください。更新バージョンのアプリケーションは、

<http://sun.com/software/javaenterprisesystem/get.html> にあります。

アクセシビリティに対する Sun のコミットメントについては、<http://sun.com/access> を参照してください。

既知の問題および制限

この節では、Sun Java System Administration Server 5.2 2005Q4 (HP-UX 版) の既知の問題および制限事項について説明します。次のように分類しています。

- [インストール、アンインストール、および移行](#)
- [一般的な問題](#)

インストール、アンインストール、および移行

インストールパスが長すぎると Administration Server を起動できない (4788213)

インストールパスが 54 文字を超えている場合、Administration Server を正しく起動できません。

回避策

インストール先の絶対パスを 54 文字以内にします。

外部セキュリティーデバイスの管理がコンソールでサポートされない (4795512)

Sun Crypto Accelerator 1000 Board などの外部セキュリティーデバイスの管理が、コンソールでサポートされていません。

回避策

外部セキュリティーデバイスの管理は、コマンド行を使用して行います。

Configuration Directory Server のインストール中、ログに重複値エラーが記録される (4841576)

Directory Server の設定中、新しいサーバーのインストールごとに、サーバーグループエントリ上の ACI が追加されます。Administration Server が Directory Server よりも後にインストールされると、エントリがすでに存在し、ACI 値もそのエントリ上にすでに存在します。このような場合、次のようなメッセージが Configuration Directory Server のログに記録されます。

```
[07/May/2004:16:52:29 +0200] - ERROR<5398> - Entry - conn=-1 op=-1msgId=-1  
- Duplicate value addition in attribute "aci" of entry "cn=Server Groups,  
cn=sorgho.france.sun.com, ou=france.sun.com,o=NetscapeRoot "
```

回避策

エラーメッセージを無視します。

Administration Server および Directory Server のインストール中に複数バイト文字を使用できない (4882927)

インストールするときに、複数バイト文字をサフィックス名以外で使用すると、Directory Server および Administration Server の設定が失敗します。

回避策

サフィックス名以外のすべてのフィールドでは、1 バイト文字を使用します。

Administration Server のインストール日付が正しくない (4908818)

Administration Server のインストール日付が正しい日付ではありません。

回避策

Administration Server のインストール日付を無視します。

サーバーコンソールまたは certutil ツールを使用して一連の CA 証明書をインポートできない (4913224)

サーバーコンソールまたは certutil ツールを使用して一連の CA 証明書をインポートできません。

回避策

サーバーコンソールまたは certutil ツールを使用して、1 回に 1 つずつの CA 証明書をインポートします。

Administration Server をアンインストールしても .suitespot ファイルが削除されない (4968548)

Administration Server のアンインストール時に、.suitespot ファイルが ServerRoot ディレクトリから削除されません。

回避策

Administration Server のアンインストール後に、.suitespot ファイルを ServerRoot ディレクトリから手動で削除します。

Administration Server の設定で、サポートされていないバージョンの Java Development Kit (JDK) が受け入れられる (4990183)

Administration Server にはバージョン 1.4.1 以降の JDK が必要です。Administration Server の設定中に JDK バージョン 1.3.x. を使用すると、Administration Server は起動しません。警告が発行されますが、設定は中断されません。

回避策

Administration Server の設定に JDK バージョン 1.4.1 以降を使用します。

Directory Proxy Server Console を起動できない (5041840)

インストール後に、Configuration Directory Server よりも先に Administration Server を起動すると、Directory Proxy Server が Administration Server にアクセスできません。この場合は、Directory Proxy Server を起動できません。

回避策

Administration Server を起動する前に Configuration Directory Server を起動します。

Java Development Kit 1.5 での Administration Server 2004Q2 の起動に失敗する (6265989)

Java Development Kit 1.5 には Administration Server 2005Q1 以降が必要です。

一般的な問題

admin_ip.pl スクリプトが正しく動作しない (4892243)

admin_ip.pl スクリプトが正しく動作しません。

回避策

admin_ip.pl スクリプトの代わりにコンソールを使用します。

IP アドレスとホスト名のセキュリティーの制限が、ドキュメントの説明と異なる (4948897)

特定の形式の IP アドレスとホスト名については、Administration Server への接続に関するセキュリティーの制限がマニュアルの記述と異なります。

Messaging Server の実行時に「アカウント」タブのヘルプページが存在しない (4952871)

Messaging Server の実行中に、サーバーコンソール上で次の手順によりヘルプボタンをクリックしても、ヘルプページが表示されずエラーになります。

1. コンソールメインウィンドウで「ユーザーとグループ」タブをクリックします
2. 「ユーザーとグループ」メインウィンドウで、任意のユーザーをダブルクリックします
3. 左側のフレームで「アカウント」を選択します
4. 「ヘルプ」ボタンをクリックします

回避策

コンソールを使用してユーザーおよびメーリングリストを管理しないでください。その代わりに、<http://docs.sun.com/source/819-1054/users.html> の『Sun Java System Messaging Server 6 2005Q1 管理ガイド』で説明されているユーザー管理ユーティリティーを使用します。

Administration Server が起動されていないことを示す警告がコンソールのログイメージに隠れて見えない (6277022)

Administration Server を起動する前に、サーバーコンソールを起動すると、サーバーが起動していないことを示す警告ダイアログが表示されますが、このダイアログが、サーバーコンソールのログイメージに隠れて見えない場合があります。

再配布可能なファイル

Sun Java System Administration Server 5.2 2005Q4 には、ユーザーによる再配布が許可されているファイルは含まれていません。

問題の報告とフィードバックの方法

Sun Java System Administration Server で問題が発生した場合は、次のいずれかの方法で Sun カスタマサポートにご連絡ください。

- Sun Software Support Services
<http://www.sun.com/support/>
- このサイトには、Online Support Center、Product Tracker へのリンクと、保守プログラムやサポート連絡先の電話番号へのリンクがあります。
- HP-UX の IT リソースセンター Web サイト
www1.itrc.hp.com
- 保守契約先に電話連絡してください。

最善の問題解決のため、サポートに連絡するには次の情報をご用意ください。

- 問題が発生した状況および操作への影響などの、問題の具体的説明
- マシン機種、OS バージョン、および製品のバージョン (問題に関係するパッチおよびその他のソフトウェアを含む)
- 問題を再現するための具体的な手順の説明
- エラーログまたはコアダンプ

Sun Java System Administration Server の話題が議論されている次のフォーラムを購読すると、有益な情報を得られます。

<http://swforum.sun.com>

コメントの送付先

Sun では、マニュアルの品質を向上するために、お客様からのコメントや提案をお待ちしております。

コメントを提供するには、<http://docs.sun.com> のページで「コメントの送信」をクリックしてください。オンラインのフォームに、マニュアルタイトルと Part No. を入力してください。Part No. は、マニュアルのタイトルページまたはドキュメントの先頭に記載されている 7 桁または 9 桁の数字です。

その他の情報

次の Web サイトには、役立つ Sun Java System 情報があります。

- Sun Java System マニュアル
<http://docs.sun.com/app/docs/prod/entsys.05q4>
- Java Enterprise System ソフトウェアサービス
<http://www.sun.com/service/products/software/javaenterprisesystem>
- Sun Java System ソフトウェア製品およびサービス
<http://www.sun.com/software>
- Sun Java System サポートおよび Knowledge Base
<http://sunsolve.sun.com>
- Sun Java System Software Support Services
<http://www.sun.com/support/>
- Sun Java System コンサルティングおよび上級者向けサービス
<http://www.sun.com/service/products/software/javaenterprisesystem>
- Sun 開発者向け情報
<http://developers.sun.com>
- Sun 開発者サポートサービス
<http://www.sun.com/developers/support>
- Sun のソフトウェアデータシート
<http://www.sun.com/software>

Copyright © 2006 Sun Microsystems, Inc. All rights reserved.

本書で説明する製品で使用されている技術に関連した知的所有権は、Sun Microsystems, Inc. に帰属します。特に、これに限定されず、これらの知的所有権には、<http://www.sun.com/patents> に記載されている 1 つまたは複数の米国特許、米国ならびに他の国における 1 つまたは複数のその他の特許、または申請中の特許が含まれます。

SUN PROPRIETARY/CONFIDENTIAL.

U.S. Government Rights - Commercial software. Government users are subject to the Sun Microsystems, Inc. standard license agreement and applicable provisions of the FAR and its supplements.

ご使用は、ライセンス条項に従ってください。

本製品には、サードパーティーが開発した技術が含まれている場合があります。

本製品の一部は、カリフォルニア大学からライセンスされている Berkeley BSD システムに基づいて開発されている場合があります。

Sun、Sun Microsystems、Sun ロゴ、Java、および Solaris は、米国およびその他の国における Sun Microsystems, Inc. の商標または登録商標です。すべての SPARC 商標は、米国 SPARC International, Inc. のライセンスを受けて使用されている、米国および他の国々における同社の商標または登録商標です。

その他の情報